

淑女は何を忘れたか (1937)

メディア 映画

ジャンル ドラマ コメディ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 72分

初公開日 1937/03/03

【解説】

小津安二郎がゼームス・楨名義で伏見晁と書いたシナリオを、自ら監督したコメディ作品。アメリカ映画の影響を包み隠さず表出させた小津のトーキー第2作で、主人公の姪を演じた桑野通子が魅力的に描かれている。

大学教授の小宮（通称ドクトル）は妻の時子に頭が上がらない。時子は小宮の助手を友人の子供の家庭教師に決めたり、週末には夫の小宮を無理矢理ゴルフに行かせたり、小宮の生活を勝手に動かしていた。そんなある日、大阪から小宮の姪である節子が上京してくる。節子のモガぶりに刺激された小宮は、生まれて初めて妻に手を上げた。ところがそれ以来、夫婦仲が良くなってしまい…。

【クレジット】

監督 小津安二郎

脚本 伏見晁

ゼームス・楨

(小津安二郎)

撮影 茂原英雄

厚田雄春

美術 浜田辰雄

衣裳 斎藤耐三

編集 原研吉

音楽 伊藤宣二

演奏 松竹大船楽団

出演 栗島すみ子 麴町の夫人時子

斎藤達雄 その夫小宮

桑野通子 大坂の姪節子

佐野周二 大学の助手岡田

坂本武 牛込の重役杉山

飯田蝶子 そのマダム千代子

上原謙 大船のスター

葉山正雄 その子藤雄

突貫小僧 近所の小学生富夫

鈴木歌子 料亭の女将

出雲八重子 女中のお文

立花泰子 酒場のマダム

大山健二 大学の先生

大塚君代 芸者

浪花友子 芸者

水島光代	芸者
久原良子	芸者
小牧和子	芸者
東山光子	芸者